



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年12月19日

我孫子市小中一貫教育だより
第399号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子どもも
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子どもも
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子どもも



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

未来に残してつなぐ ふさ カリキュラム～南小・4年生 「学区の安全マップを作ろう」

布佐南小学校4年生が総合的な学習の時間でオリジナルカリキュラムに位置付けた授業を実施しました。防災に焦点をあてた身近な施設や設備を探査、その用途を調べてマップを作成し、自分たちにできることや気をつけることを考えさせることが目的です。本時は校内にある施設・設備を探査してからマップを作成する2コマ目の授業でした。

授業が始まり、写真の順番に沿って担任からその名称や用途を児童たちに問い合わせ、探索時に覚えたことを発表したり、口々に呟いたりしながら、机上にある「総合学習ノート」に貼ってある各自のワークシートにも記入していきました。途中、担任は簡易トイレを設置する「下水用マンホールの注水口に入れるのはきれいな水か井戸水か」を問い合わせを明らかにさせるなど、児童と対話しながら学習内容を深め、発言したい児童たちも多く、教室内は活気に満ちていました。

一通りマップの記載が終わり、担任から「防災用トイレを使うようになったら、みんなはどんなことに気をつけるか?」という問い合わせがあり、まず個で考えてからグループを作りお互いの意見を交換して学び合います。グループでは、リーダーの児童が一人ずつしっかりと発言できるように進行している様子や、身振り手振りを交えながら自分の考えを一生懸命に主張している児童の姿が見られました。

グループ協議に続いて代表者が全体の前で発表。「なるべく汚さない」「水を無駄にしない」「高齢者を優先する」「組み立てる時の手伝いをする」など多角的な見方をした様々な意見が発表されました。また、担任からの口添えがあり「汚してしまったらしっかりと掃除をする」という意見も出ました。続いて、担任から「どんな時にみんなは南小に避難する?」と問い合わせがあり、児童たちは口々に自然災害の種類について知っていることを回答しましたが、その中の大雨や洪水については南小が避難場所としては不適であることもしっかりと確認し合いました。

最後に、次の時間は気象台公園に防災倉庫を見に行くことを地図を使って確認。シートを配付して見てくるポイント(何が備蓄されているか)をグループで予想しました。担任は各グループを回りながら疑問をもたせるような問い合わせを行い、一人ひとりが探索時に協力してくれる市の職員に聞きたいことを頭に描けるように工夫していました。



こぼく あらき ふれあいプロジェクト～新木小・4年「災害から地域を守ろう」

新木小4年生が災害について考える学習を行いました。「もし災害が起こったら、安全に避難するにはどうしたらよいか」という学習問題を子どもたちは真剣に考えていました。事前に自分の避難場所を確認し、自宅から避難場所までの経路で危ないと思われる場所の写真を撮影していました。



すぐに安全マップに反映できるようにと、担任が用意したいくつかの危険な場所の写真を紙に貼りつけながら、なぜ危険なのかを記述していました。特に強調されたのは、マンホールでした。通常はあまり気に留めないマンホールのふたですが、災害が起ころうが開いてしまうことが万が一にもあるかもしれないということを想像しました。「自助・共助・公助」という言葉を出発点にして、自分たちが安全に避難するための方法について具体的にイメージすることができました。